

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日



一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 國元



令和4年6月

令和3年度事業活動の概要

令和3年度は、堀田國元代表理事(理事長)、菊地憲次(常務理事:事業担当)、本間茂(常務理事:財務担当)、10名の理事(石井良和、石渡幸則、岩澤篤郎、川口寿之、小室昭、佐藤勉、丹波章彬、野田衛、藤原功一、森澤紳勝)、2名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)の役員体制、および事務局2名(中藤誉子、福島宏和)体制で事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて実施した。以下にその概要を示すが、中でも調査研究事業の成果として、「ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの事業化」に向けた経済産業省補助金事業完了、また、普及促進事業における新分野、コロナ禍における空間浄化プロジェクト開始、さらに(公財)レイ・パストゥール医学研究センターとの事業提携(特に生物安全実践講習会)を実施したことが特筆される。

令和3度事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 理事会・評議員会・委員会等活動

1) 理事会

2回開催: 通常2回(第15回6月10日、第16回3月9日)

2) 評議員会

1回開催: 定時1回(第8回6月11日)

3) 委員会

① 飲用アルカリ性電解水評価委員会:

アルカリイオン整水器検討委員会委員がコアとなって構成し、アルカリイオン水の作用機序その他に関する助成研究受託者による成果報告と討論。

- ・ 研究検討委員会: 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ・ 研究成果発表: 第83回ウォーター研究会

② 次亜塩素酸水生成装置 JIS 化委員会:

- ・ 経済産業省および日本規格協会経由問合せ対応
- ・ 日本規格協会新市場創造型標準化制度活用 JIS 制定後の市場拡大支援事業協力
- ・ 日本品質保証機構 プライベート認証システム広報
- ・ 5年見直しに伴う、日本規格協会令和4年度原案作成公募への応募準備

③ 内視鏡洗浄消毒器委員会:

- ・ 「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」対応
- ・ 杉並保健所胃内視鏡検診機能水導入に関する対応

④ 賛助会員会合: 普及促進事業報告、調査研究事業報告、新規事業支援・検討

⑤ 機能水広報委員会: 戦略的広報のあり方等について議論

2. 研究助成事業

1) 飲用機能水の作用機序や新生理作用に関する調査研究

① 東村 泰希 (石川県立大学 准教授)

分子状水素溶存アルカリ性電解水が分泌型免疫グロブリン A を介した腸管粘膜免疫に及ぼす効果の検証

② 佐藤 勉 (東海大学医学部 教授)

アルカリイオン水の口腔保健学的有用性の検証—含嗽による口腔清掃効果と疾病予防効果の検討—

2) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

① 小山 勝弘 (山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

アルカリイオン水が伸張性収縮運動後の筋パフォーマンスに及ぼす影響—疲労抑制効果と回復促進効果—

3) 酸性電解水(次亜塩素酸水)に関する新規用途に関する研究

① 渡辺 香織 (愛知文教女子短期大学)

食物アレルギーに対する酸性電解水の除去効果

3. 調査研究事業:

<共同企画研究>

① 機能水の抗ウイルス効果の評価と施設内衛生管理への活用評価

高木弘隆(国立感染症研究所)

② 次亜塩素酸水を活用した空間浄化に関する研究

機能水工業部会ほか

<研究協力>

① ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの実用化

経済産業省補助金(サポイン)事業: (株)コスモテクノ担当事業の管理業務協力

② 次亜塩素酸水の薬剤耐性菌に対する効果

東邦大学医学部 石井良和先生

4. 普及促進事業活動

事務局が主体となって以下の活動の企画・実施、あるいは支援を行った。

1) 特別会員等活動支援

① 機能水研究振興財団: ・研修会3回(7月東京、10月東京、2月東京)

② ウォーター研究会: ・セミナー共催: 第81回(2021年7月東京)、第82回(2021年10月東京)、 第83回(2022年2月東京)

③ 日本機能水学会: ・第20学術大会(10月東京)

・日本口腔機能水学会: 第23回学術大会後援: 札幌

① ルイ・パストゥール医学研究センター: 機能水研究に関する活動支援、生物安全実践講習会共催(10月)

② アルカリイオン整水器協議会: 幹事会6回/年、広報委員会9回/年、広報活動(HP等管理)

③ 微酸性電解水協議会: 総会1回(6月)

④ 日本電解水協会: セミナー講師協力

2) 対外活動

① 展示会・講演会など

- ・ ifa JAPAN 2021(5月)、食品経営者フォーラム(6月)、ATP・迅速検査研究会(9月)、愛知文教女子短期大学(10月)、食品の品質保証懇話会(令和4年3月)

② 本・雑誌執筆

- ・ 鶏卵肉情報センター: 月刊HACCP(5月、1月)
- ・ 食の安全を確保するための微生物検査協議会: 技術レポート(No.18)
- ・ 保安用品協会: セイフティダイジェスト第67巻第8号
- ・ 食品化学新聞: 月刊フードケミカル(9月)

3) その他広報・出版物

- ① 上記成果について随時ホームページにアップ
- ② ニュースレター刊行: 6回(No.100~106)
- ③ 各種既出版物の頒布

4) コンサルティング

- ① 生成装置等開発・販売に関する相談業務(賛助会員:無料 一般企業:有料)
- ② 公共団体、一般等からの機能水に関する各種問合せへの対応

5. 組織および規定

1) 役員・評議員: 以下の役員(理事・監事)および評議員からなる執行体制(令和2年7月12日登記)。

【評議員】15名

北洞哲治、川村延彦、吉田秀博、鈴木鐵也、才原康弘、古米 保、酒井眞一、富田 守、堀 晋司、岸本武利、小宮山寛機、伊藤齋、荒川眞一、田原周夫、吉川敏一

【理事】13名

代表理事: 堀田國元(理事長)

理事: 菊地憲次(常務理事)、本間茂(常務理事)、森澤紳勝、藤原功一、岩澤篤郎、石井良和、丹波章滄、佐藤勉、野田衛、小室昭、川口寿之、石渡幸則

【監事】2名

八木澤守正、宮下奈穂

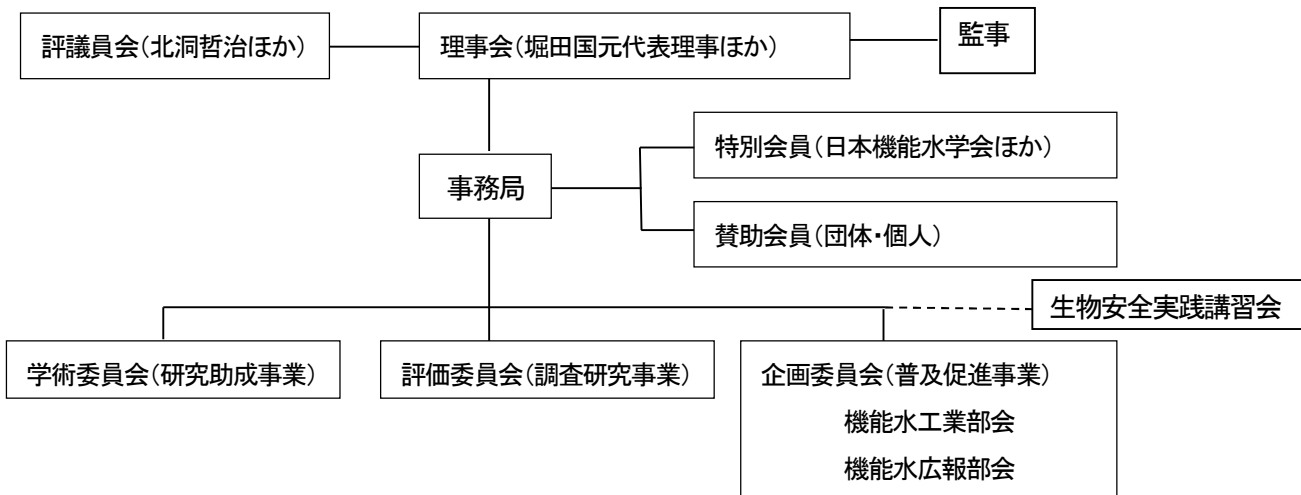
2) 事務局体制

堀田國元(理事長)、本間茂(学術担当)、秋山(中藤)誉子(事業担当)および福島宏和(会計担当)の4名体制で業務に当たった。

また、理事運営委員(菊地憲次、本間茂)によるチェックと指導を随時受けた。

3) 賛助会員および特別会員

- ① 賛助会員: 令和3年度中4社入会、令和3年度末2社退会 令和4年3月末で団体55社、個人13名。
- ② 特別会員: 令和3年度中1団体入会、令和4年3月末で7団体(日本機能水学会ほか)。
- ③ 機能水工業部会: 企画委員会(普及促進事業)につながり、「空間浄化プロジェクト」などプロジェクト毎に関係賛助会員による委員会を構成し活動。
- ④ 機能水広報部会: 企画委員会(普及促進事業)として、関係賛助会員による委員会を構成し活動。



以上